

136 マミジロ

(スズメ目)

Geokichla sibirica

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア中・東部から中国北東部、サハリン、日本などで繁殖し、繁殖後は中国南部から東南アジアなどに渡る。日本では主に本州中部以北で繁殖するが、本州南西部の山地でも繁殖するところがある。本州南西部以南は春秋の渡りの時期に通過する。比較的標高の高い山地の落葉広葉樹林や針広混交林に生息し、枝上に営巣する。地上付近でミミズ類や昆虫類などの小動物を採食する。木の実も食べる。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州北・中部、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甕島列島、宇治群島、草垣群島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、★川西市、★養父市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★香美町、★新温泉町



写真提供：北野光良 (性別：オス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
		○			○	○		○	○



写真提供：北野光良 (性別：メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-10月に生息する。多くは春秋の渡り時期に記録されるが、個体数は多くない。繁殖期に氷ノ山、扇ノ山、妙見山、蘇武岳などで観察されている。巣はまだ発見されていないが、氷ノ山では幼鳥が観察されていることから繁殖していると考えられる。

保護上の留意点

本種の保護には、極めて限られた繁殖地となっているブナ林など、高山の落葉広葉樹林の保全・再生が重要。また、渡りの時期に通過コースとなる山地や山麓の落葉広葉樹林の維持・拡大も重要。